ニューヨーク補習授業校だより

絆・きずな

令和１（2019）年
５月 18 日発行
第７号
文責（校長）片山　隆

夢のふくらむ学校

学校説明会・相談会を開催しました。

１１日、W校で海外子女教育振興財団主催「帰国生のための学校説明会・相談会」を開催しました。グローバル人材の育成を目指して、海外で学ぶ子どもたちへの期待が日本国内でますます高まっているそうで、財団では北米西海岸と東海岸、ヨーロッパ及びアジアの４班に分かれて、延べ５２校の帰国子女受け入れ校が参加してツアーを行っているそうです。首都圏を中心に１３校の校長先生はじめ担当の先生方が来校され、大ジムを会場に行いました。コロンバス、シカゴを経て３校目の説明会だそうで、本校の翌日はワシントン DC で行われたそうです。

当日は、予想を遙かに上回る３００名、１１２家庭の申込みがあり、椅子が足らずにブリーチャーで対応することになり、ご不便をおかけしました。NY はもちろん CT、NJ からも来校されていました。

はじめに各学校のプレゼンテーションがありました。はるばる日本から来られただけあって、各学校の先生方は、帰国生教育のカリキュラム、実績及び学校の施設設備の説明に熱弁を振るっておられました。その後学校ごとのブースで、個別相談を行いました。お目当ての学校の説明に、真剣に聞き入っている姿が印象的でした。

今回は、初等部中等部が対象でしたが、中高等部の生徒・保護者を対象に、２５日午前ＬＩ校、午後W校で「日本の大学進学フェア」を開催することとしています。首都圏と京都の５校の大学担当者による合同説明会と個別相談会となります。

補習校では、学習指導はもちろんですが、児童生徒一人一人の夢の実現に向けて様々な活動や行事を行ってまいります。自分の夢や将来設計の具体化に向けて、ヒントや目標をもってもらいたいものです。



全体説明会



個別相談会

体験入学・一時入学について

現地校が６月下旬で修了することに伴い、お子さんを日本に一時帰国させ、日本の学校への体験入学・一時入学を考慮されているご家庭も少なくないと思います。その際、本校ホームページより必要書類①「体験入学・一時入学の受け入れについて」及び②「児童生徒の状況について」をダウンロードの上、補習校事務所までご提出をお願いいたします。

上記①にも記載してありますが、体験入学・一時入学は、あくまで受け入れ校側の判断によるものです。そのことを十分ご承知の上、早めに学校と連絡を取るようにしてください。はじめは、直接電話で依頼することをお勧めします。各自治体や学校によって受け入れ態勢や手続きに違いがありますので、十分な情報交換をお願いします。特に、一時帰国者が多い都市部の学校では、「教科書給与証明書」を求められるケースもあります。補習校事務所で作成発行しますので、申し出てください。逆に、短期間なので役所で転入手続きなどをしないで、直接学校に問い合わせてほしいという例もあります。私が勤務していた学校でも、校長の裁量として受け入れを判断していました。

６月から７月にかけて日本の学校では、１学期のまとめの時期としてのテストや特別活動が入る時期でもあり、授業らしい授業を受けられなかった事例もあります。また、制服、上履き副教材の購入を求められたり、プール学習を受けられなかったりした事例がありました。授業中の怪我や事故への補償は、「日本スポーツ振興センター　災害共済給付制度」に、共済掛け金（９２０円）を支払えば受けられます。（詳細は、日本スポーツ振興センターのホームページでご確認ください。）加入書には英語版もあります。
https://www.jpnsport.go.jp/anzen/saigai/tabid/56/Default.aspx



楽しみな給食

９日（木）緊急電話連絡網のテスト送信を行いました。学校行事や休校等の連絡をスムーズに行うために専門の業者と契約して運用しています。急な電話連絡で驚かれた方もあったかと思いますが、ご理解をお願いいたします。なお、電話番号の変更等は速やかにご連絡ください。